

類型2 水稲専作(水稲+土地利用型作物)

1、経営発展のポイント

水稲専作で転作として加工用米と小麦を作つける。近隣の農地を集積し規模拡大を図り、スケールメリットを活かした低コスト経営を行う。

2、経営のオプション

- ①土地利用型作物としては、小麦の他にWCS、大豆、ソバ等。
 ②周辺小規模農家の水稲作業受託。
 ③小麦・大豆ができない地域ではWCS、ソバ等。

3、経営概要

労働力	家族経営 2.0人
	雇用有 (臨時)
経営耕地	水田20.0ha
内施設	パイプハウス 300㎡

4、前提条件

地域	中・南部地域
栽培方法	①水稲: 稚苗疎植移植栽培
	②小麦: 条播栽培
販売方法	系統出荷

5、栽培体系・労働時間

単位: ha、時間

作目・労力		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
水稲	面積 13.0				○	×				■				
	時間 2,483	0	0	91	572	390	0	65	234	741	208	130	52	
小麦	面積 6.0						■				○			
	時間 620	42	31	42	31	77	91	0	0	0	275	0	31	
必要とする総労働時間		3,103	42	31	133	603	467	91	65	234	741	483	130	83
労働時間(自家・保有)		2人	42	31	133	395	398	91	65	234	400	400	130	83
雇用労力		701	0	0	0	208	69	0	0	0	341	83	0	0

凡例: ●播種 ▲定植 △仮植 ■収穫 □ビニルハウス

6、主な施設・機械(初期投資額)

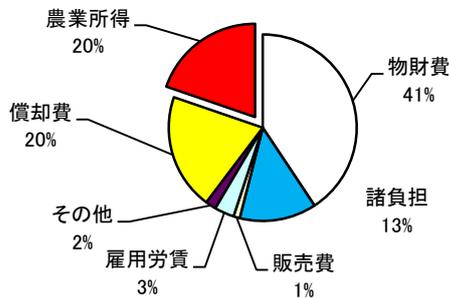
種類	規模	価格(新品)
倉庫・作業場兼事務所	300㎡	10,000,000
パイプハウス	300㎡	1,200,000
トラクター他		25,812,750
合計		37,012,750

7、売上高(粗収入)

単位: 円、kg、頭

農畜産物名	販売量	平均単価	粗収入
水稲	702	17,017	11,945,700
小麦	120	2,400	288,000
合計			12,233,700

収入総額 17,196 千円



9、経営の成果目標

項目	金額	備考
売上高(粗収入)	12,233,700	
営業外収入	4,961,833	交付金等※2
農業経営費	13,807,281	
農業所得	3,388,252	
所得率(%)	20%	

- *1 減価償却費の計算においては、税法上の耐用年数ではなく、通常使用できる期間を見積もった年数
 *2 計画策定時に想定された交付予定額で計上。

8、農業経営費

項目		金額	備考
物財費	種苗費	385,000	
	肥料費	1,407,568	
	農薬費	1,794,480	
	動力光熱費	40,803	
	諸材料費	324,870	
	小農具費	57,772	
	賃料料金	2,595,000	
	修繕費	396,185	
減価償却費		3,446,131	※1
物財費計		10,447,810	
諸負担	土改良費	152,000	
	租税公課	228,399	
	支払地代	1,894,000	
販売費	出荷資材費	187,200	
	出荷運賃	0	
	販売手数料	0	
雇用労賃		583,778	
その他		314,094	
経営費合計		13,807,281	